

今号では、県営馬頭最終処分場(仮称)の整備スケジュール等について、お知らせします。

整備・運営

PFI(民間事業者の経営能力・技術力等の活用)による整備・運営

さまざまな視点からPFIの導入を検討してきましたが、より安全で安心な処分場の整備・運営等が見込めることから、PFI方式により事業を推進することとしました。

【PFI導入のポイント】

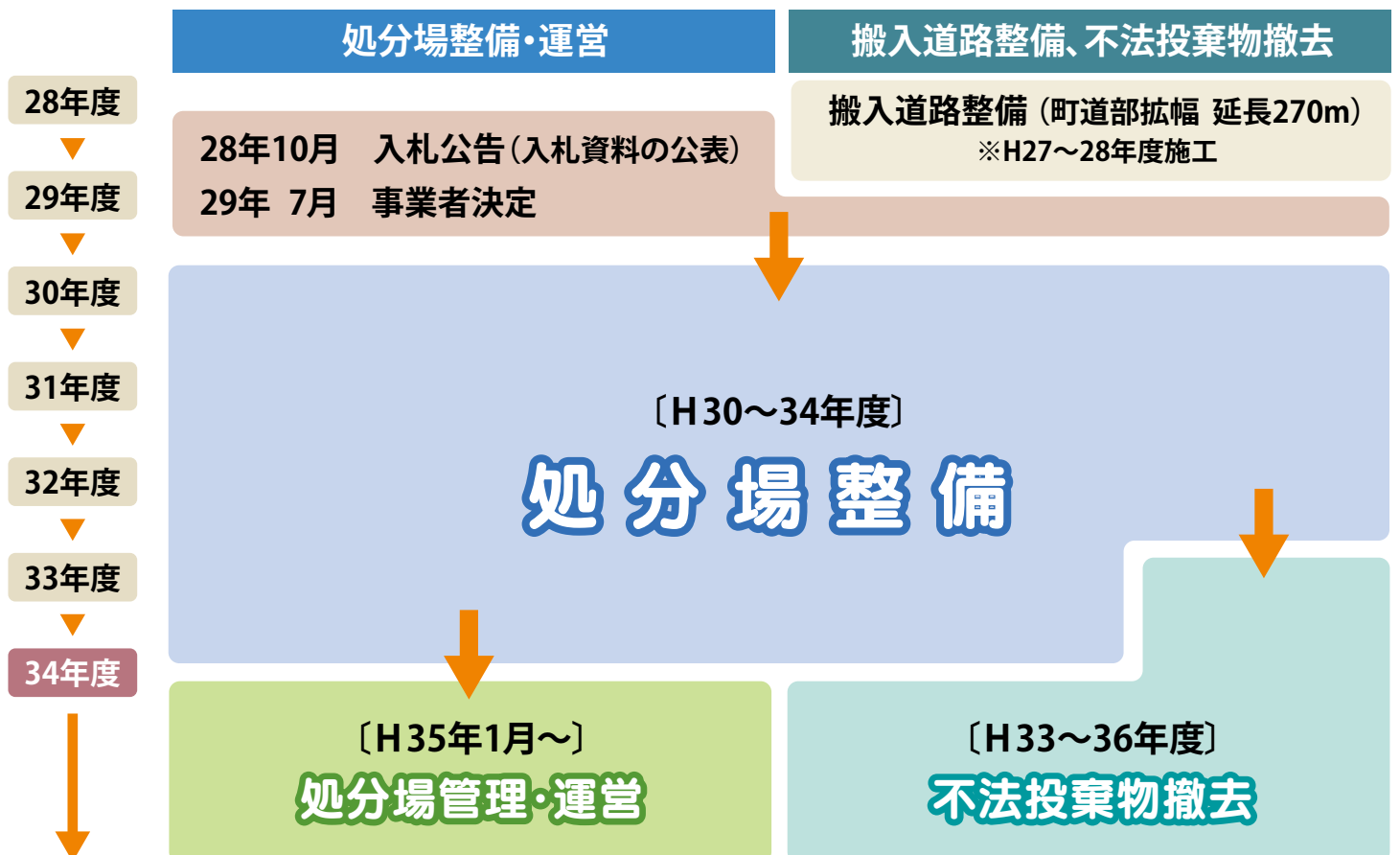
- ①民間事業者の経営ノウハウや創意工夫による効率的かつ効果的な運営・維持管理と更なる安全性の向上が期待できる。
- ②従来方式に比べ、県の財政負担について15%程度の軽減が見込める。



稚内市廃棄物最終処分場 (PFI方式)

整備スケジュール

処分場整備・運営等に係るスケジュール



Q1 PFI(※1)が、よくわかりませんか？

A PFIは、民間事業者の技術力や経営のノウハウ、資金力を活用し、公共施設等の設計、建設、運営、管理を一体的に扱うことができる公共事業の整備手法の一つです。

あくまでも地方自治体が発注者となり、公共事業として行うものであり、JRやNTTのような民営化とは異なります。

最近では、公園や病院、小中学校、廃棄物処理施設などの整備・運営でPFIを導入する地方自治体が増えており、官民連携による公共事業の取組として位置づけられています。

(※1)PFIは、「プライベート・ファイナンス・イニシアチブ」の略

Q3 PFIは事業者の意向が強く反映され、基本設計書の内容と変わってしまうと聞きましたがそうなのですか？

A PFIでは、基本設計書に示した性能と同じ、又は、それ以上の性能を民間事業者が提案することになります。

県では、事業者から提案された内容を基本設計書等に照らし合わせ、細かな検討を重ね、精査した上で、最終的な整備仕様を決めることとなります。

PFI方式で事業を進めても、これまでどおり、基本設計を踏まえた内容での整備・運営となります。

Q2 PFIを導入すると、県営処分場ではなく、民間処分場になると聞きましたがそうなのですか？

A PFIは、公共事業の整備手法の一つであり、県が事業主体として責任を持って取り組むことには変わりはありません。

これまでどおり、県が処分場の所有者として、また、管理者として「県営処分場」の運営に当たりますので、ご安心ください。



コラム
ひと休み



町道備中沢線拡幅工事現場

のり面緑化への取組を紹介します。

平成27年度から、馬頭最終処分場(仮称)の搬入道路(町道部)として使用する「町道備中沢線」の拡幅工事を行っています。

施工にあたっては、地域性を考慮し、環境に配慮した自然と調和できる創意工夫に努めています。

その一つとして、のり面を全面緑化する新たな工法を取り入れています。写真(左)は、施工後約3カ月経過したのですが、ほぼ全面が緑に覆われた状態になっています。

お問い合わせ先

- 栃木県 環境森林部 馬頭処分場整備室 TEL 028-623-3227 FAX 028-623-3182
Email : bato@pref.tochigi.lg.jp
- 〃 那珂川分室 TEL 0287-92-1411 FAX 0287-92-1416
- 那珂川町 環境総合推進室 TEL 0287-92-1110 FAX 0287-92-3699

発行

- 栃木県 環境森林部 馬頭処分場整備室 〒320-8501 宇都宮市馬場 1-1-20 TEL 028-623-3227
【栃木県ホームページ】 <http://www.pref.tochigi.lg.jp/>

[⇒テーマから探す⇒暮らし・環境 ⇒ 廃棄物 ⇒ 県営処分場]

(平成28年10月発行)